

世界小型株 厳選ファンド

【運用報告書(全体版)】

(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

第 **6** 期
決算日 2022年1月25日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2019年2月1日から2029年1月25日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 世界小型株厳選マザーファンド 世界の金融商品取引所に上場する株式
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式へ投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ■マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、アパディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 世界小型株厳選マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年2回(原則として毎年1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

世界小型株厳選ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCI ACワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算)		株式組入率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	期騰 落率	期騰 落率	期騰 落率		
2期(2020年1月27日)	円 11,537	円 150	% 7.0	114.12	% 8.0	% 99.2	百万円 1,965
3期(2020年7月27日)	11,889	50	3.5	100.76	△11.7	96.9	1,659
4期(2021年1月25日)	14,776	800	31.0	134.11	33.1	96.5	1,810
5期(2021年7月26日)	16,703	400	15.7	153.79	14.7	98.3	2,662
6期(2022年1月25日)	14,545	0	△12.9	150.46	△2.2	95.9	1,969

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCI ACワールド・ スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算)		株式組入率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2021年7月26日	円 16,703	% —	153.79	% —	% 98.3
7月末	16,667	△0.2	154.55	0.5	98.4
8月末	17,424	4.3	157.58	2.5	98.2
9月末	16,862	1.0	156.78	1.9	99.0
10月末	18,258	9.3	164.31	6.8	99.3
11月末	17,794	6.5	158.68	3.2	98.0
12月末	18,015	7.9	163.69	6.4	100.3
(期末) 2022年1月25日	14,545	△12.9	150.46	△2.2	95.9

※騰落率は期首比です。

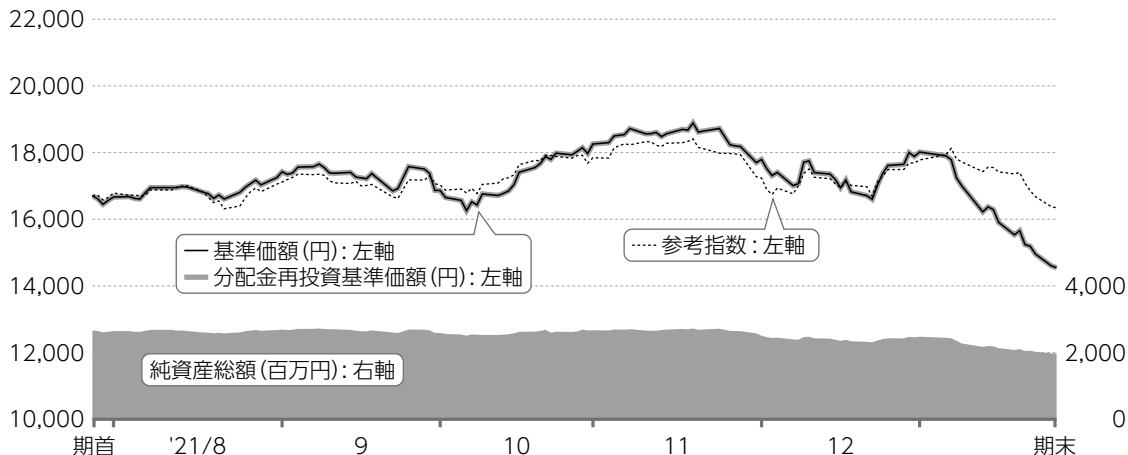
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	16,703円
期末	14,545円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-12.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCI ACワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

上昇要因

- マザーファンドで保有している銘柄の株価が上昇したこと

購入意思を重視した企業向けのマーケティングおよび販売サービスで業界をリードする米国のIT(情報技術)メディア企業のTechTarget, Inc.は、市場予想を上回る好決算に加えて、業績予想の大幅な上方修正を発表したことを受けて上昇しました。

また、技術系スタッフの派遣に特化した日本の人材サービス企業であるテクノプロ・ホールディングスもパフォーマンスに貢献しました。同社の契約更新率、人材サービスの利用、価格などは引き続き堅調に推移しています。

このほか、米国の特殊車両製造のトップメーカーであるThe Shyft Group Inc.もプラスに寄与しました。同社は市場予想を上回る良好な決算および強気な業績予想を発表しました。

- 為替市場が米ドルを中心に円安となったこと

下落要因

- マザーファンドで保有している銘柄の株価が下落したこと
米国の家庭用・事業用バックアップ発電機のトップメーカーのGenerac Holdings, Inc.はパフォーマンスの重石となりました。同社は直近の決算が珍しく市場予想を下回ったことで、業績に対する不透明感が高まりました。期待外れの決算結果の発表が、インフレおよび金利の見通しの変更に伴い高バリュエーション(投資価値評価)のグロース株が幅広く売られたことと重なったことで、同銘柄の株価下落が増幅されました。また、クーラーボックス、フラスコなど冒険愛好家向けの各種アウトドア用品の設計・販売を行う米国企業のYeti Holdings Inc.もマイナスとなりました。こちらも金利が上昇する中で、投資家が同銘柄を売却し利益を確定する動きを強めたことが逆風となりました。
米国のオンライン教育会社のChegg, Inc.もパフォーマンスの重石となりました。同社のコンテンツの使用に関して競合企業から法的な異議申し立てがあり、当該競合企業との間で現在係争中であることや、同社オンライン教育サービスの加入者数の伸びが鈍化していることが投資家の懸念材料となりました。

投資環境について(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

期間におけるグローバル株式市場は下落しました。また、為替市場は概ね円安となりました。

グローバル株式市場

グローバル株式市場は、2022年1月に大幅に下落した結果、期間ではマイナスリターンとなりました。新型コロナの新たな変異ウイルス(オミクロン型)の出現にもかかわらず、グローバル株式市場は2021年通年では着実に上昇したものの、金融政策が従来の想定よりも早期かつより速いペースで引き締められるのではとの懸念が高まったことを受け、2022年初めに急落しました。米国の企業決算が強弱まちまちの内容となったことや、ロシアのウクライナ侵攻に対する懸念が高まったことが、脆弱な市場センチメント(投資家心理)をさらに悪化させた格好です。こうした状況を背景に、小型株ユニバース内ではエネルギーセクターおよび金融セクターの銘柄がアウトパフォーマンスしました。

為替市場

為替市場では、主要通貨に対し概ね円安となりました。世界的な景気回復への期待の高まりや、海外主要中央銀行の金融政策正常化の前倒し観測により、内外金利差が意識されたことなどから、主要通貨は米ドルを中心に概ね対円で上昇しました。一方、ユーロは足元のウクライナ情勢など地政学リスクなどからほぼ横ばいとなりました。

ポートフォリオについて (2021年7月27日から2022年1月25日まで)

当ファンド

主要投資対象である世界小型株厳選マザーファンドを期間を通じて高位に組み入れました。

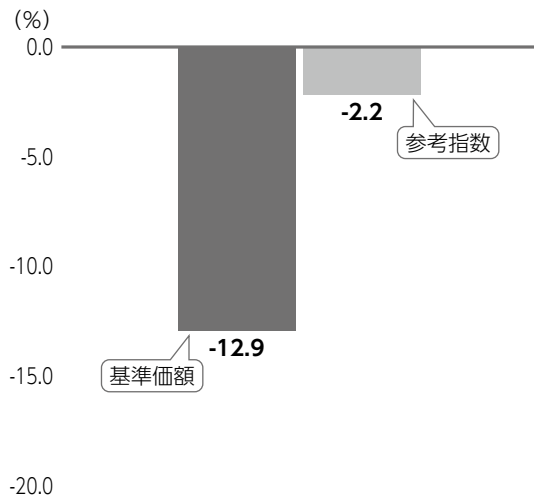
世界小型株厳選マザーファンド

米国の光学部品メーカーで、データ需要の急激な増加の恩恵を受ける上で絶好の位置にあるFabrinetを購入しました。このほか、靴、アパレル、アクセサリーの設計、マーケティング、販売を行う米国企業であるDeckers Outdoor Corporationおよび米国に拠点を置くDX (デジタル・トランスフォーメーション)のコンサルティング会社であるPerficient, Inc.などを購入しました。

一方で、日本の決済サービス会社であるGMOペイメントゲートウェイや、日本の医療機器メーカーであるマニー、英国の家庭用家具の小売業者であるDunelm Group Plc.などを売却しました。

ベンチマークとの差異について(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス(配当込み、円換算)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第6期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,201

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

世界小型株厳選マザーファンド

当ファンドは、クオリティ、グロース(成長)、モメンタムへのバイアス(傾斜)にしたがって、ポートフォリオのポジションを構築しています。投資テーマの重要な要素として、企業のファンダメンタルズ(基礎的条件)を引き続き重視していきます。

世界経済が今後徐々に回復していき、2022年中には新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)から抜け出せることが期待されます。実際のところ、2021年に

影響を及ぼした変動要因の多くは現在ではよりよく理解されており、これらのリスクを封じ込めるための取り組みが進められています。世界のワクチン接種率は上昇しており、サプライチェーン(供給網)の供給不足は緩和されつつあり、また中国政府の政策の方向性はより明確になってきています。市場は依然として金利動向に敏感な動きを続けており、主要中央銀行の金融政策の変更によって市場が大きく動く可能性があります。地域別にみると、米国ではインフラ投資を中心とした景気刺激策の実施が市場の下支え要因になるとみています。その他、2021年を通じて世界の他地域を大幅にアンダーパフォームしてきた日本を含むアジア地域と新興国市場については、2ヵ月連続で利下げが行われ、経済活動の再開に向けて借入による資金調達で資金が潤沢な状況にある中国を中心に注目しています。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

世界小型株厳選ファンド

1万口当たりの費用明細(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	167円	0.971%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は17,249円です。
(投信会社)	(93)	(0.540)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(71)	(0.414)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.017)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.026	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(4)	(0.026)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	4	0.024	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(4)	(0.024)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	20	0.117	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用
(保管費用)	(16)	(0.093)	
(監査費用)	(1)	(0.007)	
(その他)	(3)	(0.018)	
合計	196	1.138	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

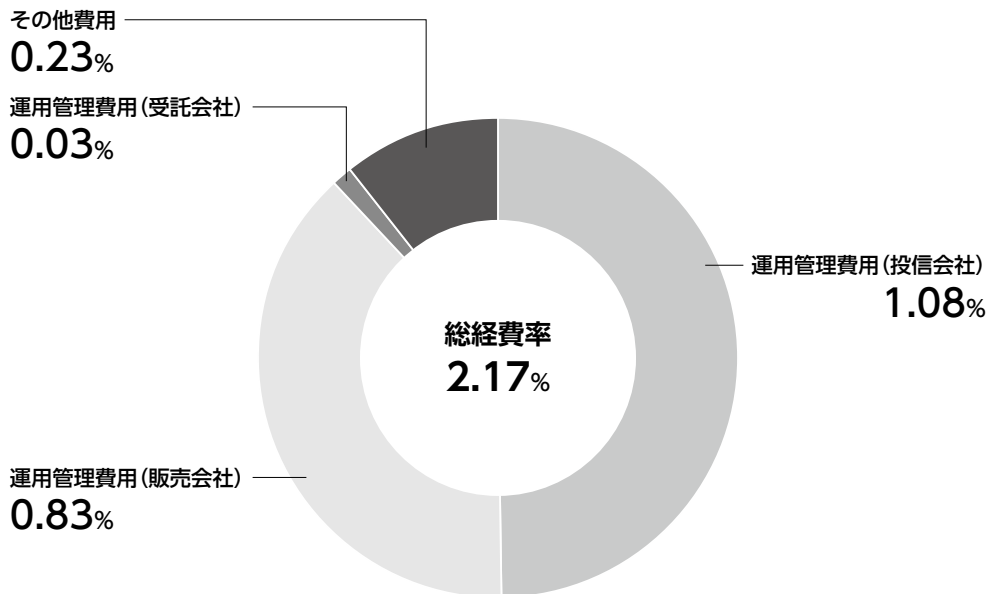
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は2.17%です。

世界小型株厳選ファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年7月27日から2022年1月25日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界小型株厳選マザーファンド	千口 128,790	千円 264,020	千口 344,326	千円 706,218

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年7月27日から2022年1月25日まで)

項 目	当 期
	世界小型株厳選マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,363,078千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,566,341千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.53

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年7月27日から2022年1月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

世界小型株厳選ファンド

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月27日から2022年1月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年1月25日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)	期 末	評 価 額
	口 数	口 数	
世界小型株厳選マザーファンド	千口 1,355,425	千口 1,139,889	千円 1,970,184

※世界小型株厳選マザーファンドの期末の受益権総口数は1,139,889,319口です。

■ 投資信託財産の構成

(2022年1月25日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
世界小型株厳選マザーファンド	千円 1,970,184	% 98.7
コール・ローン等、その他	26,066	1.3
投資信託財産総額	1,996,251	100.0

※世界小型株厳選マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（1,875,859千円）の投資信託財産総額（1,995,189千円）に対する比率は94.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.01円、1オーストラリア・ドル=81.65円、1台湾・ドル=4.115円、1イギリス・ポンド=153.70円、1スウェーデン・クローナ=12.30円、1インド・ルピー=1.54円、1ポーランド・ズロチ=28.267円、1ユーロ=129.06円です。

世界小型株厳選ファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,996,251,156円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,121,323
世界小型株厳選マザーファンド(評価額)	1,970,184,698
未 収 入 金	24,945,135
(B) 負 債	26,466,413
未 払 解 約 金	1,556,112
未 払 信 託 報 酬	24,741,667
そ の 他 未 払 費 用	168,634
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,969,784,743
元 本	1,354,232,164
次 期 繰 越 損 益 金	615,552,579
(D) 受 益 権 総 口 数	1,354,232,164口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	14,545円

※当期における期首元本額1,594,118,986円、期中追加設定元本額259,061,564円、期中一部解約元本額498,948,386円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年7月27日 至2022年1月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,330円
受 取 利 息	140
支 払 利 息	△ 1,470
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△277,408,545
売 買 益 損	38,854,315
売 買 損 益	△316,262,860
(C) 信 託 報 酬 等	△ 24,910,326
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△302,320,201
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	388,757,173
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	529,115,607
(配 当 等 相 当 額)	(315,398,484)
(売 買 損 益 相 当 額)	(213,717,123)
(G) 合 計 (D + E + F)	615,552,579
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	615,552,579
追 加 信 託 差 損 益 金	529,115,607
(配 当 等 相 当 額)	(315,597,887)
(売 買 損 益 相 当 額)	(213,517,720)
分 配 準 備 積 立 金	388,757,173
繰 越 損 益 金	△302,320,201

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は8,740,551円です。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	315,597,887
(d) 分配準備積立金	388,757,173
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	704,355,060
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	5,201.14
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

世界小型株厳選マザーファンド

第3期（2021年1月26日から2022年1月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2019年2月1日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ■世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株を主要投資対象とします。 ■組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 ■運用指図にかかる権限をアバディーン・インベストメント・マネジメント・リミテッドへ委託します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) M S C I A C ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配 当 込 み、 円 換 算)		株 式 組 入 率 比	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率		
(設 定 日) 2019年2月1日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	百万円 250
1 期 (2020年1月27日)	12,184	21.8	114.12	14.1	96.7	2,017
2 期 (2021年1月25日)	16,787	37.8	134.11	17.5	96.5	1,810
3 期 (2022年1月25日)	17,284	3.0	150.46	12.2	95.9	1,970

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) M S C I A C ワールド・ スモールキャップ・インデックス (配 当 込 み 、 円 換 算)		株 式 組 入 率 比
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2021年 1月25日	円 16,787	% —	134.11	% —	% 96.5
1月末	16,302	△ 2.9	131.89	△ 1.7	90.4
2月末	16,654	△ 0.8	140.75	5.0	97.2
3月末	17,038	1.5	147.51	10.0	94.3
4月末	18,213	8.5	153.23	14.3	94.1
5月末	17,986	7.1	154.33	15.1	95.4
6月末	19,033	13.4	156.54	16.7	94.9
7月末	19,608	16.8	154.55	15.2	98.4
8月末	20,533	22.3	157.58	17.5	97.4
9月末	19,899	18.5	156.78	16.9	98.6
10月末	21,559	28.4	164.31	22.5	97.5
11月末	21,045	25.4	158.68	18.3	94.2
12月末	21,329	27.1	163.69	22.1	99.5
(期 末) 2022年 1月25日	17,284	3.0	150.46	12.2	95.9

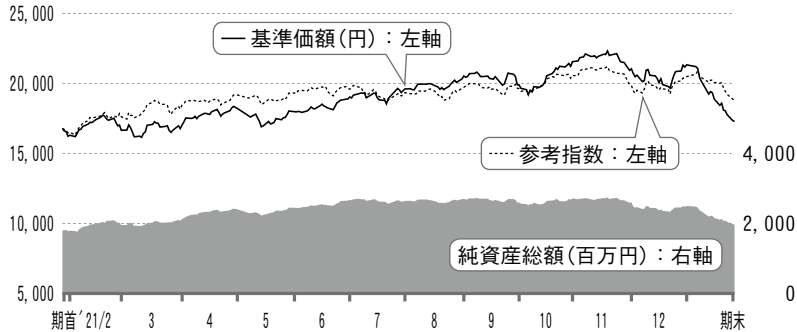
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2021年1月26日から2022年1月25日まで）

基準価額等の推移



期首	16,787円
期末	17,284円
騰落率	+3.0%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算）です。
 ※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因 (2021年1月26日から2022年1月25日まで)

世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して運用を行いました。

<p>上昇要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保有している銘柄の株価が上昇したこと 英国のデジタルメディア・プラットフォーム企業のFuture PLCは極めて良好なパフォーマンスを示しました。他社の事業買収に関するニュースが好感されたことや、同社の決算発表が非常に良好な内容であったことなどの好材料が追い風となりました。 世界最大のスイミングプールおよびプール用品の卸売会社である米国のPool CORPも、住宅の修繕や改築への消費者の支出が増加を続ける中で売上高が大幅に増加したことを受けてパフォーマンスに貢献しました。 また、イタリアのポンプメーカーのInterpump Group SPAも上昇しました。 ・為替市場が円安となったこと
<p>下落要因</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保有している銘柄の株価が下落したこと 米国の在宅医療介護サービスやホスピスサービスのプロバイダーAmedisys, Inc. は当ファンドのパフォーマンスの重石となりました。同社は、賃金コストの上昇により利益が圧迫される中で業績予想を下方修正しました。 また、米国のオンライン教育会社のChegg, Inc.、米国の自動車用仮想アシスタンスソリューション開発会社のCerence Inc. もパフォーマンスにマイナスに作用しました。

▶ 投資環境について（2021年1月26日から2022年1月25日まで）

期間におけるグローバル株式市場は上昇しました。また、為替市場は円安となりました。

グローバル株式市場

期間において、グローバル株式市場はプラスリターンを確保しました。2021年は大きく上昇しましたが、2022年1月初旬に急落に転じました。

期間の初めは、世界的に債券が大幅に売られる中で景気回復のモメンタム（勢い）が失速し、世界経済の脆弱な景気回復が危くなるのではとの懸念に拍車がかかりました。こうした状況を背景に、グローバル株式市場も悪影響を受けました。しかしながら、世界経済に対する楽観的な見方、新型コロナウイルスのワクチン接種展開の加速、緩和的な金融政策の継続、良好な企業決算発表などを背景に、グローバル株式市場は再び上昇モメンタムを取り戻しました。グローバル株式市場は2021年9月に入りインフレや金利上昇に対する懸念の高まりを受けて一旦下落しましたが、その後10月からの企業の決算発表シーズンに入り好業績が相次いだことを受けて反発に転じました。11月後半に新型コロナの新たな変異ウイルス（オミクロン型）の出現を受けて上昇が短期的に一服したにもかかわらず、この上昇基調は2021年末まで継続しました。しかし、2022年1月に入るとインフレや金融政策の引き締めに対する懸念が再燃し、米国企業の決算発表が強弱まちまちの結果になったことや、ロシアのウクライナ侵攻の懸念が高まったことによって相場の地合いが悪化する中で、グローバル株式市場は急落に転じました。

為替市場

為替市場では、主要通貨に対して円安となりました。米国金利の低下や新型コロナの変異ウイルスの感染拡大を受けて一時的に円高となる局面があったものの、世界的な景気回復への期待の高まりや、主要中央銀行の金融政策正常化の前倒し観測により内外金利差が意識されたことなどから、主要通貨は米ドル、英ポンドを中心に対円で上昇しました。

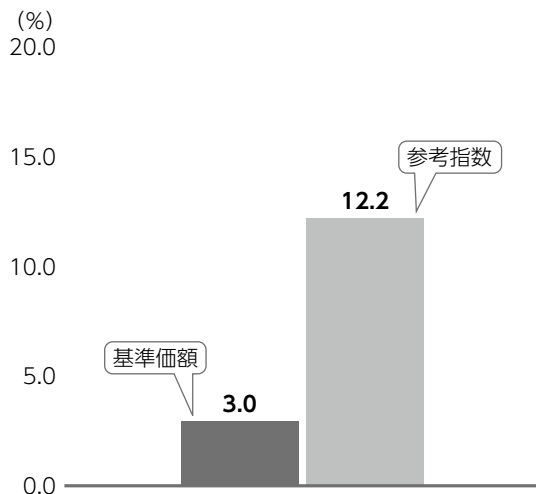
▶ポートフォリオについて（2021年1月26日から2022年1月25日まで）

多種多様なウェブサイトを持ち、法人ユーザー向けにIT（情報技術）製品やシステムに関する詳細なニッチ情報を提供する米国のITメディア企業であるTechTarget, Inc. や、米国に本拠を置く世界最大の高性能木材代替複合デッキ製品のメーカーであるTrex Company, Inc.、オートメーション、エネルギー、産業プロセス、電力の各領域における工業製品や技術ソリューションに特化したスウェーデンの技術事業会社であるAddtech ABなどを購入しました。

一方、オーストラリアのデータアノテーション（人工知能が学習するためにデータに対して関連する情報を注釈として付与する）大手であるAppen Ltd、米国の金融テクノロジー企業であるEnvestnet, Inc.、ホスピスと緩和ケアサービスを提供する米国のヘルスケア企業であるChemed Corpなどを売却しました。

▶ベンチマークとの差異について（2021年1月26日から2022年1月25日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス（配当込み、円換算）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

当ファンドは、クオリティ、グロース（成長）、モメンタムへのバイアス（傾斜）にしたがって、ポートフォリオのポジションを構築しています。投資テーマの重要な要素として、企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）を引き続き重視していきます。

世界経済が今後徐々に回復していき、2022年中には新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）から抜け出せることが期待されます。実際のところ、2021年に影響を及ぼした変動要因の多くは現在ではよりよく理解されており、これらのリスクを封じ込めるための取り組みが進められています。世界のワクチン接種率は上昇しており、サプライチェーン（供給網）の供給不足は緩和されつつあります。また、中国政府の政策の方向性はより明確になってきています。市場は依然として金利動向に敏感な動きを続けており、主要中央銀行の金融政策の変更によって市場が大きく動く可能性があります。地域別にみると、米国ではインフラ投資を中心とした景気刺激策の実施が市場の下支え要因になるとみています。その他、2021年を通じて世界の他地域を大幅にアンダーパフォームしてきた日本を含むアジア地域と新興国市場については、2ヵ月連続で利下げが行われ、経済活動の再開に向けて借入による資金調達で資金が潤沢な状況にある中国を中心に注目しています。

■ 1万口当たりの費用明細（2021年1月26日から2022年1月25日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	10円 (10)	0.052% (0.052)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	12 (12)	0.060 (0.060)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	48 (45) (4)	0.253 (0.234) (0.019)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	69	0.365	

期中の平均基準価額は19,037円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

世界小型株厳選マザーファンド

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年1月26日から2022年1月25日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 10.954 (19.521)	千円 62,980 (-)	千株 38.316	千円 137,995
		百株 725.78	千アメリカ・ドル 6,998	百株 569.16	千アメリカ・ドル 6,374
外	ア メ リ カ	725.78	千アメリカ・ドル 6,998	百株 569.16	千アメリカ・ドル 6,374
	オ ー ス ト ラ リ ア	979.52	千オーストラリア・ドル 1,074	313.46	千オーストラリア・ドル 435
台 湾	台 湾	500 (-)	千台湾・ドル 8,122 (△ 6)	1,085.9	千台湾・ドル 27,394
	イ ギ リ ス	763.01 (0.01)	千イギリス・ポンド 1,360 (0)	628.54	千イギリス・ポンド 1,287
ス ウ ェ ー デ ン	ス ウ ェ ー デ ン	255.09	千スウェーデン・クローナ 3,410	20.8	千スウェーデン・クローナ 394
	韓 国	4.84	千韓国・ウォン 51,241	26.52	千韓国・ウォン 232,843
ポ ー ラ ン ド	ポ ー ラ ン ド	10.05	千ポーランド・ズロチ 264	27.56	千ポーランド・ズロチ 843
	ユ ー ロ		千ユーロ		千ユーロ
国	オ ラ ン ダ	49.47	237	48.97	204
	フ ラ ン ス	1.33	39	0.61	20
	ド イ ツ	75.57	404	30.46	145
	ス ペ イ ン	71.64	242	29.41	257
	イ タ リ ア	117.6	469	101.06	307
	フィンランド	28.8	70	24.92	75

※金額は受渡し代金。

※ () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年1月26日から2022年1月25日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,773,310千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,338,352千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.18

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年1月26日から2022年1月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年1月26日から2022年1月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年1月25日現在)

(1) 国内株式

銘 柄	期首(前期末)	期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
精密機器 (一)			
マニー	7.786	—	—
情報・通信業 (58.2%)			
GMOペイメントゲートウェイ	1.179	—	—
JMDC	4.877	8.67	47,164
サービス業 (41.8%)			
日本M&Aセンターホールディングス	7.41	—	—
テクノプロ・ホールディングス	4.596	11.4	33,926
グレイステクノロジー	2.063	—	—
合 計	株 数・金 額	株 数	千円
	27.911	20.07	81,091
	銘柄数<比率>	2銘柄	<4.1%>
	6銘柄		

※銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

世界小型株厳選マザーファンド

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
DOLBY LABORATORIES INC-CL A	40.82	22.22	195	22,257	ソフトウェア・サービス	
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	9.51	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MARKETAXESS HOLDINGS INC	3.02	—	—	—	各種金融	
PAYLOCITY HOLDING CORP	21.44	27.68	548	62,513	ソフトウェア・サービス	
TERMINIX GLOBAL HOLDINGS INC	80.58	—	—	—	消費者サービス	
CHEGG INC	64.09	—	—	—	消費者サービス	
POOL CORP	13.77	11.68	557	63,601	小売	
AXON ENTERPRISE INC	41.64	38.53	522	59,562	資本財	
CERENCE INC	—	34.76	215	24,578	ソフトウェア・サービス	
GENERAC HOLDINGS INC	24.99	17.57	502	57,328	資本財	
ENVESTNET INC	56.16	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
CHEMED CORP	5.43	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
LATTICE SEMICONDUCTOR CORP	79.59	80.81	439	50,064	半導体・半導体製造装置	
YETI HOLDINGS INC	62.11	81.09	559	63,790	耐久消費財・アパレル	
FLOOR & DECOR HOLDINGS INC-A	49.01	49.05	515	58,796	小売	
TECHTARGET	—	74.11	614	70,010	メディア・娯楽	
SHYFT GROUP INC/THE	—	128.5	566	64,607	資本財	
SLEEP NUMBER CORP	—	26.15	200	22,813	小売	
ALTAIR ENGINEERING INC - A	—	36.64	223	25,535	ソフトウェア・サービス	
DECKERS OUTDOOR CORP	—	5.35	171	19,578	耐久消費財・アパレル	
PERFICIENT INC	—	37.03	375	42,813	ソフトウェア・サービス	
FOX FACTORY HOLDING CORP	—	15.62	208	23,786	自動車・自動車部品	
MAXIMUS INC	16.12	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
TREX COMPANY INC	—	53.29	507	57,857	資本財	
SITONE LANDSCAPE SUPPLY INC	30.86	30.95	576	65,716	資本財	
INSULET CORP	17.22	10.28	229	26,136	ヘルスケア機器・サービス	
AMEDISYS INC	18.08	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
FABRINET	—	30.86	354	40,439	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
KORNIT DIGITAL LTD	70.97	49.86	487	55,566	資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 <比率>	705.41 19銘柄	862.03 21銘柄	8,572 — <49.6%>	977,355	
(オーストラリア)			千オーストラリア・ドル			
STEADFAST GROUP LTD	—	603.35	290	23,745	保険	
ARB CORP LTD	—	89.93	394	32,242	自動車・自動車部品	
APPEN LTD	147.42	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ALS LTD	511.74	631.94	778	63,568	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄数 <比率>	659.16 2銘柄	1,325.22 3銘柄	1,464 — <6.1%>	119,555	
(台湾)			千台湾・ドル			
VOLTRONIC POWER TECHNOLOGY	94.72	10.05	1,407	5,790	資本財	

世界小型株厳選マザーファンド

銘柄	株数	期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
SINBON ELECTRONICS CO LTD	555.96	302.46	8,453	34,790	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
TAIWAN UNION TECHNOLOGY CORP	247.73	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	898.41 3銘柄	312.51 2銘柄	9,860 —	40,580 <2.1%>	
(イギリス)			千イギリス・ポンド			
GENUS PLC	72.39	12.46	45	6,967	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GAMMA COMMUNICATIONS PLC	67.19	—	—	—	電気通信サービス	
FUTURE PLC	117.75	157.3	471	72,531	メディア・娯楽	
KEYWORDS STUDIOS PLC	116.83	139.08	346	53,184	ソフトウェア・サービス	
DUNELM GROUP PLC	124.11	—	—	—	小売	
GLOBALDATA PLC	58.26	—	—	—	商業・専門サービス	
KAINOS GROUP PLC	—	178.62	260	40,027	ソフトウェア・サービス	
WATCHES OF SWITZERLAND GROUP	—	101.27	119	18,429	小売	
INTERMEDIATE CAPITAL GROUP	107.61	209.89	386	59,374	各種金融	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	664.14 7銘柄	798.62 6銘柄	1,629 —	250,514 <12.7%>	
(スウェーデン)			千スウェーデン・クローナ			
ADDTech AB-B SHARES	—	234.29	3,748	46,108	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	234.29 1銘柄	3,748 —	46,108 <2.3%>	
(韓国)			千韓国・ウォン			
DOUZONE BIZON CO LTD	21.68	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	21.68 1銘柄	— —	— —	— <—>	
(ポーランド)			千ポーランド・ズロチ			
DINO POLSKA SA	42.46	24.95	858	24,261	食品・生活必需品小売り	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	42.46 1銘柄	24.95 1銘柄	858 —	24,261 <1.2%>	
(ユーロ…オランダ)			千ユーロ			
CORBION NV	58.89	59.39	218	28,206	素材	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	58.89 1銘柄	59.39 1銘柄	218 —	28,206 <1.4%>	
(ユーロ…フランス)			千ユーロ			
TELEPERFORMANCE	4.55	5.27	174	22,526	商業・専門サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4.55 1銘柄	5.27 1銘柄	174 —	22,526 <1.1%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
JUNGHEINRICH - PRFD	98.34	100.75	372	48,110	資本財	
NEMETSCHKE SE	19.19	21.81	166	21,454	ソフトウェア・サービス	
CTS EVENTIM AG & CO KGAA	—	40.08	241	31,222	メディア・娯楽	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	117.53 2銘柄	162.64 3銘柄	780 —	100,787 <5.1%>	

世界小型株厳選マザーファンド

銘柄	株数	金額	期首(前期末)	期 末		業 種 等	
			株 数	株 数	評 価 額		
					外貨建金額		邦貨換算金額
(ユーロ…スペイン) CIE AUTOMOTIVE SA VIDRALA SA	— 20.72	— 20.72	62.95 —	千ユーロ 158 —	20,424 —	自動車・自動車部品 素材	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	20.72 1銘柄	62.95 1銘柄	158 —	20,424 < 1.0%>		
(ユーロ…イタリア) FINECOBANK SPA REPLY SPA INTERPUMP GROUP SPA	— — 95.22	230.79 — 95.22	230.15 18.78 93.62	千ユーロ 343 273 496	44,272 35,313 64,098	銀行 ソフトウェア・サービス 資本財	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	326.01 2銘柄	342.55 3銘柄	1,113 —	143,684 < 7.3%>		
(ユーロ…フィンランド) KESKO OYJ-B SHS	—	96.77	100.65	千ユーロ 263	34,007	食品・生活必需品小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	96.77 1銘柄	100.65 1銘柄	263 —	34,007 < 1.7%>		
ユーロ通貨計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	624.47 8銘柄	733.45 10銘柄	2,709 —	349,637 <17.7%>		
合 計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	3,615.73 41銘柄	4,291.07 44銘柄	— —	1,808,014 <91.8%>		

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2022年 1月25日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
株 式	1,889,105	94.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	106,083	5.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,995,189	100.0

※期末における外貨建資産 (1,875,859千円) の投資信託財産総額 (1,995,189千円) に対する比率は94.0%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=114.01円、1オーストラリア・ドル=81.65円、1台湾・ドル=4.115円、1イギリス・ポンド=153.70円、1スウェーデン・クローナ=12.30円、1インド・ルピー=1.54円、1ポーランド・ズロチ=28.267円、1ユーロ=129.06円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,023,491,039円
コール・ローン等 株 式(評価額)	92,499,128 1,889,105,633
未 収 入 金	41,585,791
未 収 配 当 金	300,487
(B) 負 債	53,313,715
未 払 金	28,368,548
未 払 解 約 金	24,945,135
そ の 他 未 払 費 用	32
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	1,970,177,324
元 本	1,139,889,319
次 期 繰 越 損 益 金	830,288,005
(D) 受 益 権 総 口 数	1,139,889,319口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	17,284円

※当期における期首元本額1,078,275,726円、期中追加設定元本額625,874,722円、期中一部解約元本額564,261,129円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は、世界小型株厳選ファンド1,139,889,319円です。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・英国アバディーン・グループにおけるブランド統一に伴い、運用委託先の名称が変更されることから、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2021年12月17日)

■ 損益の状況

(自2021年1月26日 至2022年1月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	14,020,970円
受 取 配 当 金	13,974,403
受 取 利 息	301
そ の 他 収 益 金	56,113
支 払 利 息	△ 9,847
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	119,900,700
売 買 益	390,379,603
売 買 損	△270,478,903
(C) そ の 他 費 用 等	△ 6,246,885
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	127,674,785
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	731,820,544
(F) 解 約 差 損 益 金	△528,604,018
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	499,396,694
(H) 合 計(D + E + F + G)	830,288,005
次 期 繰 越 損 益 金(H)	830,288,005

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。